

特集 2017年秋のタカの渡り多点観察結果

2017年9月17日（日）に県内5か所でタカの渡りの一斉観察会を行う予定でしたが、すべてが雨天のため中止になりました。しかし、当年も長期間のタカの渡りの観察記録が小茂田英彦さんから寄せられましたのでここにまとめて報告します（別報を参照ください）。

この間（9/13～9/27）、サシバ22羽、ハチクマ1羽、ノスリ1羽、計24羽のタカ類の渡りを確認しました（表1、2）。

小茂田さんのレポートの中で、次の記述に注目しました。「利根川右岸（伊勢崎市境島村）上空を通過するタカたちの渡ってくる方角（北から東）に注目して、東毛地区の観察地点を探し、9月24日、そこでタカの渡りの観察を試みました。この地点での観察は3時間30分（6：50～10：20）掛けましたがサシバ1羽の確認のみで終了しました。その日の午後は長沼町の自宅で観察を続け、サシバ8羽、ハチクマ1羽、ノスリ1羽、計10羽のタカ類の渡りを確認しました。」彼の新たな試み事、これはタカの渡りに関心を持っている我々にどうしたら成果が得られるのかを示してくれているのではないかとその実行力に敬服しました。

小生は以前、小茂田さんからサシバは邑楽

町中野の上空を渡っているはずだから観察してみたらどうか、という内容の手紙をいただいたことを思い出しました。そこで、データはだいぶ古くなりますが一例を取り出してみることになります。

「8羽のサシバが自宅上空を渡る」

洗濯物を干していた家人が「鷹が群れているよ」と知らせてくれました。慌てて双眼鏡を持って飛び出しました。指差す方向はやや西の上空で、8倍の視野に巡回している4羽のサシバが入って来ました。肉眼で見ていた家人が数え始めサシバは8羽になりました。しばらく輪を描いていたサシバがそこから直飛を始めました。彼らは北東の方角からやって来て、我が家のやや西で巡回して南西の方角へ飛んで行きました。タカの仲間もこれくらいまとまって飛ぶと見応えがあります。

自宅上空でのサシバの渡りの確認は2000年10月6日（晴、8：46～8：50）の7羽（西の方角へ飛去）以来のことです。タカの仲間の渡りは当地では滅多に確認できません。しかし、ここ数年の観察で彼等が東毛の平野を渡っていることが徐々に分かってきました。

サシバが飛び去った後（10：20）、ヒヨドリ6羽の渡りがみられました。方角はサシバ

表1 観察地と観察時間及び天気（2017年秋）

No.	観察地	市町村	月日	観察時間	天気	観察者 人数
1	牛伏山	高崎市	9/17	中止	雨	土屋等 1
3	大室公園	前橋市	9/17	中止	雨	小林廣喜 1
5	城沼	館林市	9/17	中止	雨	松本文勝 2
6	桜山公園	藤岡市	9/17	中止	雨	小井土幸男 1
7-1	境島村(利根川)	伊勢崎市	9/13	8:20～10:20	晴のち快晴	小茂田英彦 1
7-2	長沼町(利根川)	"	9/19	8:30～11:00	晴のち快晴	小茂田英彦 1
7-3	"	"	9/20	8:20～10:00	曇	小茂田英彦 1
7-4	境島村(利根川)	"	9/22	7:30～9:40	曇	小茂田英彦 1
7-5	長沼町(利根川)	"	9/24	12:20～14:00 15:00～16:30	快晴	小茂田英彦 1
7-6	"	"	9/25	7:10～9:40 12:40～15:20	晴	小茂田英彦 1
7-7	"	"	9/26	7:10～10:20 13:00～14:40	快晴	小茂田英彦 1
7-8	"	"	9/27	8:30～9:40	曇	小茂田英彦 1
8	渋川総合公園	渋川市	9/17	中止	雨	飯塚浩 2

表2 タカ類の観察数（2017年秋）

月日	No.	観察地	サシバ	ハチクマ	ノスリ	計
9/13	7-1	境島村(利根川)	1	0	0	1
9/24	7-5	境島村(利根川)	8	1	1	10
9/25	7-6	長沼町(利根川)	13	0	0	13
種別計			22	1	1	24

遭遇できるものではないのですね。小茂田さんには何をしているのかと喧嘩されてしまいそうです。終わりに本観察会に参加された方々、

と同じでした。ヒヨドリのそれは比較の見やすいので（数が多く、賑やかに鳴きながら低空を飛ぶ）、野鳥の渡りのルート解明の手掛かりになると思われます。野鳥の行動も何かがどう関連しているのかよく分かりません。気付いたことはその場でメモをとる…、これに限ります。ついすっかりして、書き忘れて後悔することが多いのです。

（2006年9月30日、晴、暖かい、巻雲あり、10：18～ 邑楽町中野）

自宅上空を渡るサシバの記録はその後ありません。その時期になると時々庭に出て青空を見上げるのですが、その程度ではサシバに

ならびにデータを提供してくださった方に厚く御礼を申し上げます。

<データ提供者> （敬称略）

小茂田英彦（伊勢崎市）

P.S. 鳥類が恐竜から進化したことについて興味を持っている方々にお勧めしたい記事がありましたのでご紹介します。

特集：恐竜から鳥へ

1 羽根と翼の進化 S. ブルサット
2 見えた！恐竜の色 J. ヴィンサー
日経サイエンス 2017. 06.

1の文末がワクワクする文章なので抜粋し

てみます。

「どうやら、飛行可能な小型恐竜が組み立てられるとすぐに、つまり密木細工が完成したとたん、途方もない進化の可能性が解放されたようだ。これらの飛翔恐竜は新しい生態学的ニッチと機会を手に入れた。

そして白亜紀末に直径約10kmの隕石が地球に衝突した際、非鳥類恐竜はその破滅的な衝

撃に対応できなかったが、鳥類はこの大量絶滅を飛び越えて生き延び、その先に征服すべき新しい世界を見つけたのだった。」

翻訳協力 古川奈々子、監修 真鍋 真
2も同様ですので図書館で探してお読みになってください。

(まとめ 堀口 忠男)

2017年秋、館林市の北端でタカを待つ+自宅で 小茂田 英彦

毎年代わり映えのしない報告で内心心苦しく思っております。過去の報告のとおり、利根川右岸（伊勢崎市境島村）で見えますと、タカの多くは北から東にかけての方向より飛んで来ます。

そこで、当地より東で、なおかつ北に位置する地点（もちろん群馬県下）で、タカの渡り多を観察会が行われる尾曳神社以外にどこかより所はないかと、地図（道路地図）をじっくり眺めてみた結果、「ここは？」と思われる場所を見つけました。グーグルマップで周辺の建物の状況もチェックし、「これは、行っている価値がある」と、9月6日少し小雨もハレルイでしたが、下見に行ってみました。

行く（見る）前は何かにつけてそうですが、「こうだろうな、ああだろうな」と良い方にばかり想像してしまい、実際日の当たりにすると想像とは大きく異なり、大抵がっかりしてしまふものです。

しかしながら河原坂を上り詰めびっくり仰天。想像していた以上にいい所です。日差しを遮る木陰こそないものの、北・東は言わずもがな360度見渡せます。そこは館林市の北端、矢馬川・渡良瀬川の堤防上（県道寺岡館林線、高橋大橋南詰を東に入った雷電神社付近）で、サイクリングロードやゴルフ場等への進入路に利用されているものの、車止め

の所などに他の人の邪魔にならずに車も駐車できます。ちなみにここから南へ4kmほど離れたところが尾曳神社になります。

「ここは出るんじゃないか」と大いに満足して帰路につきました。

で、満を持して24日行ってきました。後悔することのないよう6時50分に到着して待つ。昨日の天気と違い、晴れていい条件だ。7時43分、上空あまり高くないところを羽ばたいて1羽上流へ、少し行った所で帆翔する。サシバだ。まだあまり上昇気流が発生しないのか、羽ばたきを交えてそのまま上流方向へ（北西になる）。幸先のいい出だしに「これは、どんどん来るぞ」と期待が高まる。が、あに図らんやその後10時20分まで待ってみたが全く出ない。この日飯島さんは境島村の利根川右岸で観察していたが、サシバ8羽程だそうで、まだ早いのか。

早々に切り上げて午後は自宅で。表のとおり12時・13時台はやはりだめ、でも、諦めきれず15時から再開する。15時59分やつと1羽上空に出る。ノスリだ。これは珍しく普通に南西に滑翔していった。と、上空数羽のタカが旋回している。6羽いる。1羽はハチクマだ。あわててカメラを部屋から取ってくる。少し高くなってしまったが、まだ旋回していて全部で9羽いるようだ。そのまま南西へ。とりあえず今シーズンも見られて一安心。

表1 2017年タカの渡り時間別観察数 *各時20分ごとの観察羽数

9月13日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	備考
(水)	ハチクマ	0	0	0	0	0					0	境島村
晴のち快晴	サシバ	1	0	0	0	0					1	
8時20分～	その他	0	0	0	0	0					0	
10時20分	小計	1	0	0	0	0					1	
9月19日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	自宅
(火)	ハチクマ	0	0	0	0	0	0	0			0	
晴のち快晴	サシバ	0	0	0	0	0	0	0			0	
8時30分～	その他	0	0	0	0	0	0	0			0	
11時00分	小計	0	0	0	0	0	0	0			0	
9月20日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	自宅
(水)	ハチクマ	0	0	0	0	0					0	
曇り	サシバ	0	0	0	0	0					0	
8時20分～	その他	0	0	0	0	0					0	
10時00分	小計	0	0	0	0	0					0	
9月22日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	境島村
(金)	ハチクマ	0	0	0	0	0					0	
曇り	サシバ	0	0	0	0	0					0	
7時30分～	その他	0	0	0	0	0					0	カケス初見
9時40分	小計	0	0	0	0	0					0	
9月24日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	自宅
(日)	ハチクマ					0	0	0	0		1	1
快晴	サシバ					0	0	0	0		8	8
12時20分～	その他					0	0	0	0		0	1
14時00分～	小計					0	0	0	0		9	10
15時00分～	小計					0	0	0	0		9	10
9月25日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	自宅
(月)	ハチクマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
晴	サシバ	0	0	1	0	0	9	1	0		13	
7時10分～	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10時20分～	小計	0	0	1	0	0	9	1	0		13	
12時40分～	小計	0	0	1	0	0	9	1	0		13	
9月26日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	自宅
(火)	ハチクマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
晴	サシバ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7時10分～	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10時20分～	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13時00分～	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月27日	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計	自宅
(水)	ハチクマ	0	0	0	0						0	
曇り	サシバ	0	0	0	0						0	
8時30分～	その他	0	0	0	0						0	
9時40分	小計	0	0	0	0						0	
合計		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	小計
延べ観察時間	ハチクマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	サシバ	0	0	1	0	1	9	1	0	0	0	22
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22時間40分	小計	0	0	1	0	1	9	1	0	0	0	24

25日も自宅で。7時51分、上空に1羽出たサシバは、十数回旋回してくれた。早い時間から見られ、今日は期待が持てそうだ。8時53分、少し東寄りの上空にサシバ9羽。生憎まとまったタカ柱にはならず、300mmでも3

羽位しか入らなかった。これは南へ滑翔していった。
26日、27日と全く飛ばず、今シーズンを終了した

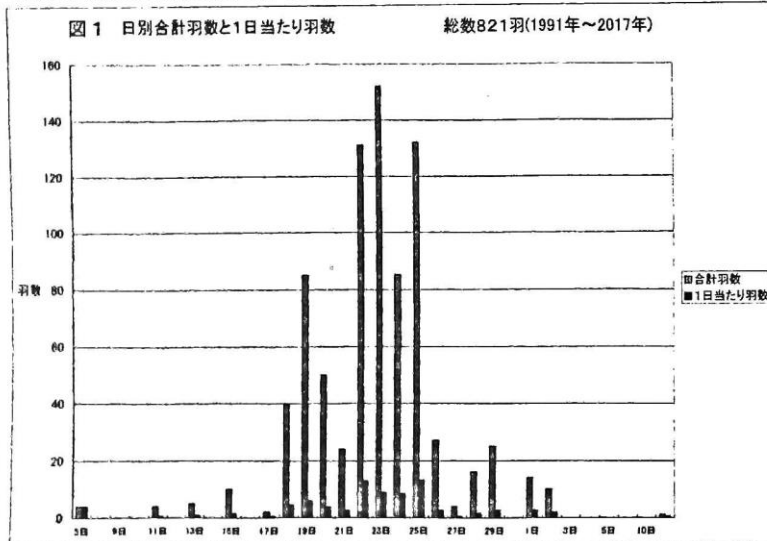
利根川(坂東大橋から境島村付近)におけるサシバの渡りのピークについて

小茂田 英彦

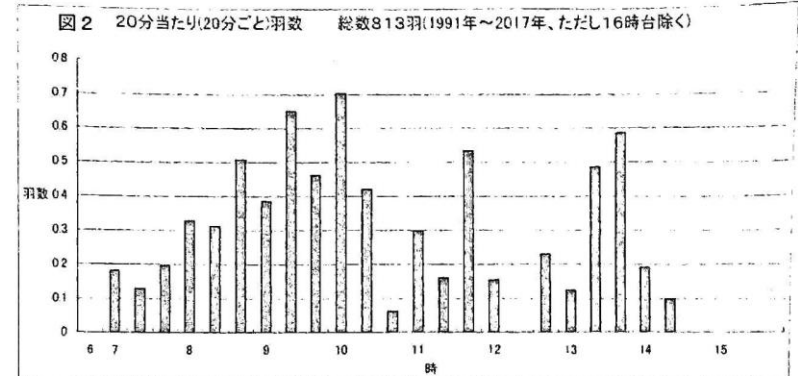
1991年から利根川でサシバの渡りを調査(観察)して27年、何となく9月下旬が一番見られると感じていますが、実際渡りのピークはいつなのか、また、その時間帯はということで、この間観察した総数821羽を日別と時間帯別に分けて分析してみました。

まず、図1「日別合計羽数と1日当たり羽数」のグラフを見ますと、19日と24日が85羽でまたま同数です。では中旬も多く渡っているのでしょうか。調査できた日数は27年間で必ずしも同じではありませんから、単純に

これをもって判断することはできません。そこで、比較できるよう1日当たり羽数を出してみます。19日に調査できたのは、27年間で14回(日付と紛らわしいので回とします)、24日が同10回のため、1日当たりの羽数は、24日の9羽(小数点以下四捨五入、以下同じ)に対し、19日は6羽となります。これは前後(18日、20日)のそれぞれ4羽とそれほど顕著な差には思われません。一方、22日は13羽、23日は9羽、25日は13羽で、渡りのピークは22日から25日の4日間となります。



★9月9日以前と、10月5日以降は、観察してない日があるため、日付が連続していない。



次に、図2「20分当たり(20分ごと)羽数」ですが、ここからは、2017年9月24日、自宅で16時1分に観察した8羽はレアケースのため除いてありますので、総数は813羽です。

考え方は図1のときと同様です。20分ごとの時間帯に見られた総数を、その時間帯の総回数で除して求めます。当然のことですが、「20分ごとの時間帯」は調査時間が同じであれば、調査日ごとに毎日(回)あるわけですから、図1で分母にした「調査日数」に比べ分母となる「20分ごとの時間帯」は10倍以上となり、除した結果20分当たり羽数が1(小数点第2位以下四捨五入)未満となってしまう

いましたが、傾向は把握できます。比較的次数の多い0.4以上のところは、8時40分から10時40分、11時40分から12時、13時20分から14時となり、午前中に集中しますが、13時台後半にも小ピークがあります。

27年間の集計で、日によって調査時間も一定でなく、データ不足は否めませんが、大まかな傾向はつかめたかと思えます。

とはいうものの、時期が来れば中旬から時間の許す限り空を見上げて、サシバを待っていることと思います。